

令和6年3月11日

和光市子ども・子育て支援会議
会長 森田 明美 様

和光市子ども・子育て支援会議
施設認可部会
部会長 五十嵐 裕子

令和5年度第1回和光市子ども・子育て支援会議施設認可部会に付された事項に対する審議結果について（報告）

令和6年2月6日付けで当会議に付された事項について、第2期和光市子ども・子育て支援事業計画及び市の子ども子育て支援行政の現状等を踏まえて審査した結果、次のとおり結論を得ましたので、報告します。

記

1 議題

- (1) 私立幼稚園の確認に係る利用定員の変更について
- (2) 私立幼稚園の認定こども園化に伴う確認について
- (3) 私立保育所の認定こども園化に伴う確認について
- (4) 私立保育所の確認に係る利用定員の変更について
- (5) 公設園の利用定員の変更について
- (6) 小規模保育事業所の確認に係る利用定員の変更について

2 審議結果（報告）

議題について、原案のとおり承認する。

【意見】

認定こども園化及び定員変更については了解いたしました。保育ルームフエリーチェについては、0歳児が定員0となっています。この園については、今後もし、0歳児で入園希望者が出た場合に柔軟に対応してもらいたいと思いますので、0, 1歳の枠として9名としてもらえないでしょうか。職員の乳児保育では時間によっては保育士の手が足りないことも多いので、職員数は現状のまま、定員枠を柔軟にするという案をご検討ください。よろしくお願いいたします。

（裏面あり）

【回答】

0歳児の定員が0名となっていることにつきましては、4月入所選考が終了した現時点におきましても、近隣の小規模保育事業所及び保育所において、0歳児に空き枠が生じているため、現在の提供体制でも5月以降の応募等に対して柔軟に対応できるものと考えております。

乳児保育につきましては、乳児概ね3名に対し、保育士が1名必要になるため、職員数を現状のまま0歳児の定員枠を増やすことは、ご指摘のとおり保育士の人材不足の中においては難しいと考えているところです。

今後につきましても0歳の入園希望者が出た際には、近隣の園と調整し柔軟に対応したいと考えているため、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

以 上